

福祉生活病院常任委員会資料

(令和4年4月21日)

【件名】

- 新型コロナウイルス感染症への対応について
(新型コロナウイルス感染症対策推進課) . . . 2
- 新型コロナウイルスワクチン接種に向けた取組状況について
(新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム) . . . 5

新型コロナウイルス感染症対策本部事務局

新型コロナウイルス感染症への対応について

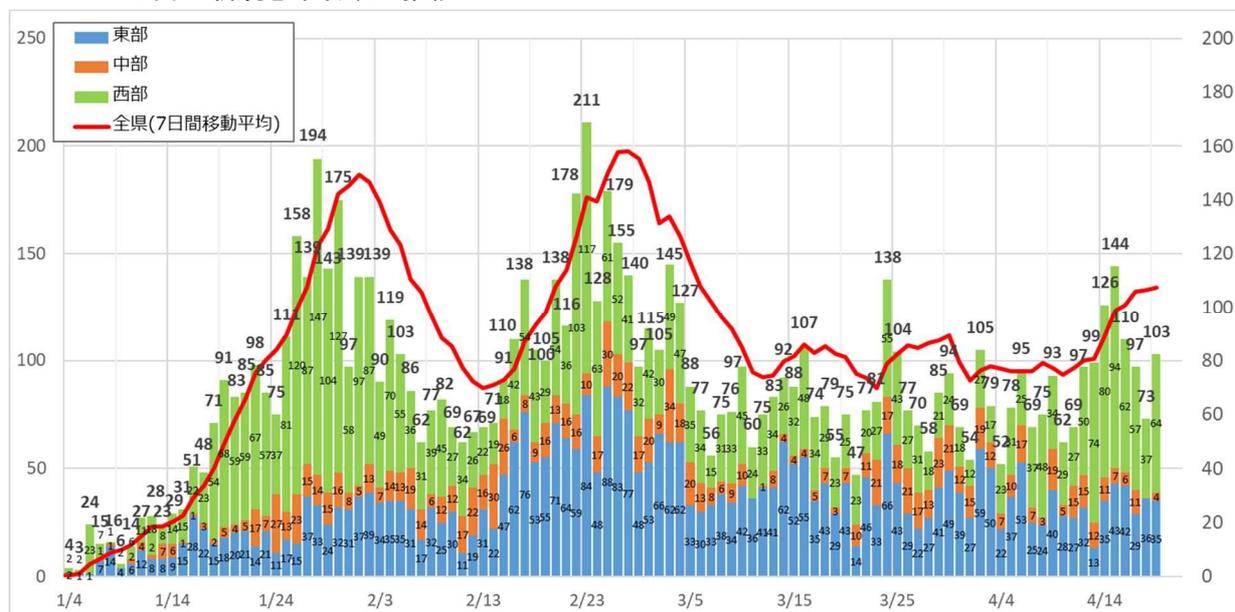
令和4年4月21日
新型コロナウイルス感染症対策推進課

1 県内における感染者の発生状況

(1) 累計感染者数（令和4年1月1日以降4月19日現在、発表日ベース）

9,374名（鳥取市保健所 3,715名・倉吉保健所 1,194名・米子保健所 4,465名）

<1/1以降の新規感染者数の推移>



(2) 令和4年1月4日～4月19日公表事例（計9,374名）の概要

年代	10代以下	20～30代	40～50代	60～70代	80代以上	
	3074	2862	2244	931	263	
性別	男	女				
	4662	4712				
居住地別	鳥取市	岩美郡・八頭郡	倉吉市	東伯郡		
	3233	396	494	664		
	米子市	境港市	西伯郡・日野郡	県外		
	3270	489	622	206		
既往性者との接触	有		無			
	県内陽性者	県外陽性者	2738			
	6511	125				
国外・県外移動歴 <発症(検体採取)日前14日間>	有	無	不明			
	1032	8324	18			
ワクチン接種	未接種	1回目	2回目	3回目	不明	
	3761	80	4997	436	100	
推定感染経路 (場所)	家庭	職場	飲食店・会食	教育機関・児童福祉施設	その他	不明
	4104	641	352	908	1206	2163

(3) 累計死亡者数（令和4年4月19日現在、発表日ベース）

死亡（累計）	うち新型コロナウイルス感染症を死因とする死亡者
14	7

(4) クラスタ発生状況（令和4年3月22日（前回報告）以降：99～114例目）

区分	鳥取市	倉吉	米子	分類計
学校・保育所等	2	1	2	5 (31%)
高齢者施設	0	0	1	1 (6%)
事業所	1	0	0	1 (6%)
飲食店	1	1	0	2 (13%)
その他	4	0	3	7 (44%)
管内計	8 (50%)	2 (12%)	6 (38%)	16 (100%)

2 BA. 2・第7波特別対策

陽性者が倍増しても適切な医療や支援を継続できる体制整備に着手

(1) 保健所体制

- ・本庁職員を米子保健所へ派遣して実施していた米子保健所の積極的疫学調査(電話聞取)業務を、本庁においてリモートで実施
- ・保健所業務の内、在宅療養者への「パルスオキシメーター貸与・回収」「食料配布」等の定型業務の民間事業者等への外部委託へ(委託開始までは職員を動員)

(2) 医療体制

ア 入院病床(最大確保病床数 350床)

- ・入院病床に加えて、高齢者施設や療養病床での感染発生時の療養継続体制整備を推進

イ 宿泊療養(最大確保居室数 459室)

- ・看護協会と連携し、24時間健康サポートを担う看護人材を追加確保
- ・鳥取方式あんしん投薬システムで円滑に薬剤処方
- ・臨時医療施設での医療的ケアを充実(その場での治療薬投与、入院対応)

ウ 在宅療養

- ・療養者支援体制(保健所(パルスオキシメーター貸与、食料配布等)、県庁HER-SYS班(My-HER-SYS利用者の健康観察)、訪問看護ステーション(電話等による健康観察))の強化
- ・かかりつけ医、薬剤師による健康観察体制の整備充実
- ・市町村との連携を強化(市町村保健師による健康サポート、生活支援物資配送等)

エ 治療薬

- ・塩野義製薬が開発中の経口抗ウイルス薬の薬事承認に備え、県内で早期に広く配備、投与・処方できるよう医師会・薬剤師会と体制づくりに着手
- ・診療所の医師、高齢者施設勤務医等を対象に治療薬に関する研修会を開催予定

3 各種要請・警報の発令状況(令和4年4月19日現在)

(1) 特措法第24条第9項による協力要請

ア. 感染防止対策徹底の要請

- ・区 域 鳥取県全域
- ・期 間 令和4年3月3日から4月30日まで(4月10日満了予定から延長)
- ・要請内容 基本的な感染予防対策、感染拡大予防ガイドラインの遵守の徹底

イ. 無料検査の受検要請

- ・区 域 鳥取県全域
- ・期 間 令和3年12月31日から令和4年4月30日まで(4月10日満了予定から延長)
- ・要請内容 感染への心配のある方の積極的な無料検査の受検(特に感染拡大地域への往来、不特定多数の方と接触等感染リスクの高い行動をされた方)

(2) 感染状況に応じた臨時のアラート等

ア. 感染急拡大特別警報

発令日	発令区域	備考
令和4年4月8日	東部・西部	3月31日に全県に発令、4月8日に中部解除

イ. BA. 2感染拡大情報

発令日	発令区域	備考
令和4年4月14日	—	オミクロン株BA. 2変異の疑い例が確認されたことに伴うもの

(3) 鳥取県版新型コロナ警報

地域	発令状況	発令日
東部	特別警報	令和4年1月24日
中部	特別警報	令和4年3月24日(警報から移行)
西部	特別警報	令和4年1月18日

(4) 「レベル分類」の本県独自の判断指標状況

○本県のレベル：レベル2

○指標：算定基準日：令和4年4月18日、直近1週間：令和4年4月12日～4月18日

【判断指標】

指標	数値	算式
新規陽性者数(対人口10万人/週)	135.9人	752人/55.3万人×10万人
確保病床使用率(※1)	15.7%	55床/350床
重症者用確保病床使用率(※2)	0.0%	0床/47床
療養施設の使用状況(※3)	1.075	870人/(350床+459室)

※1 他県で確認された陽性者が使用する数を含む場合があります。

※2 重症者以外が使用している数を含む場合があります。

※3 療養者数には在宅療養者の人数も含まれます。

【参考指標】

指標	数値	算式
療養者数(対人口10万人)	157.2人	870人/55.3万人×10万人
PCR陽性率(直近1週間)	8.3%	752/9,029件
感染経路不明割合(直近1週間)	25.8%	194件/752件

新型コロナウイルスワクチン接種に向けた取組状況について

令和 4 年 4 月 21 日
 新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム

1 本県の接種状況

(1) 県全体の接種状況

(4月18日時点)

全年代	1回接種者	2回接種者	3回接種者
総接種回数	440,209	432,604	283,094
人口当たり接種率	79.06%	77.70%	50.84%

(2) 年代別接種状況

(4月18日時点)

	1回目	2回目	3回目	対象人口 (住基本人口)	接種率 (1回目)	接種率 (2回目)	接種率 (3回目)
0～4歳	－	－	－	20,844	－	－	－
5～11歳	4,059	2,224	－	33,654	12.1%	6.6%	－
12～19歳	30,811	30,051	3,542	40,654	75.8%	73.9%	8.7%
20代	38,285	37,600	14,915	47,353	80.9%	79.4%	31.5%
30代	45,143	44,448	19,038	58,234	77.5%	76.3%	32.7%
40代	61,367	60,571	30,037	74,205	82.7%	81.6%	40.5%
50代	59,600	58,922	37,321	66,546	89.6%	88.5%	56.1%
60～64歳	32,690	32,373	26,301	37,030	88.3%	87.4%	71.0%
65～69歳	37,277	36,915	33,469	41,750	89.3%	88.4%	80.2%
70代	71,754	71,014	65,706	74,402	96.4%	95.4%	88.3%
80代以上	59,223	58,486	52,765	62,116	95.3%	94.2%	84.9%
合計	440,209	432,604	283,094	556,788	79.1%	77.7%	50.8%

※母集団となる人口データは、住民基本台帳年齢階級別人口（令和3年1月1日時点）を利用

2 追加接種（3回目接種）

(1) 接種促進の取組

ア 若年層の接種促進

- ・大学・高等専門学校等と職域接種会場を結ぶ送迎バスの運行。
- ・鳥取短期大学、鳥取看護大学の新生児に対して県営接種会場での接種勧奨を大学に実施していただき、県営接種会場で受入（4/16～）。その他の大学等でも、順次実施に向け調整中。
- ・県営会場で接種される4月から新たに成人となる18～20歳の方に対して、お祝いとしてミニプレゼントを配布（4/9～）。

イ 利便性向上

- ・県営接種会場で「予約なし接種」を開始（4/16～）。最短20分で接種完了可能な体制と合わせて部活、子育て、仕事など忙しい方でも気軽に接種に行ける体制を整備。
- ・職域共同接種プロジェクトに対して企業・事業所単位で受入。

ウ エssenシャルワーカーの早期接種対策

- ・保育士、教職員等のエssenシャルワーカーの接種を進めるため、各団体から接種希望者リストを提出いただき、県営接種会場で受入。

エ 各種メディア広報

- ・新聞折り込みチラシなど各種媒体により、モデルナ社製に対する不安が解消され、重症化予防のための3回目接種を受けるようPRに努めるほか、ワクチンの接種に関する各種相談を受けたり接種会場の案内などを行う「モデルナワクチン・コンシェルジュ」を設置（2/17～）。

オ 県営大規模接種センターの設置

- ・感染拡大防止と市町村の負担軽減を目的に、県内3圏域に県営大規模接種センターを設けモデルナ社製ワクチンを使用した追加接種を実施中。
 接種実績 9,700人（4月18日時点）
- ・一部会場では初回接種（1・2回目接種）者への対応も継続して実施し、ワクチン未接種者への接種機会を確保。

	東 部	中 部	西 部
会場	新日本海新聞社	倉吉シティホテル	米子コンベンションセンター 米子しんまち天満屋
	県保健事業団（東部）	県保健事業団（中部）	県保健事業団（西部）
開始時期	倉吉シティホテルは1月29日から開設、その他会場は2月から開設、 県保健事業団の3会場は3月末で終了		
接種実績 (4/18時点)	3,381人	3,141人	3,178人
	うち、保育士、教職員、消防職員等のエッセンシャルワーカー 2,487人		

(2) 職域追加接種の状況

初回接種を行った職域団体のうち、13会場が職域追加接種の実施会場として登録済み。

	会場名	会場地	開始日	接種実績	主な対象
1	鳥取商工会議所	鳥取市	4/2	1,521	鳥取商工会議所と会員企業
2	サンマート	鳥取市	3/17	1,708 (接種完了)	サンマートと関係企業
3	鳥取大学（湖山）	鳥取市	5/12	—	
4	ジャパンディスプレイ	鳥取市	4/14	353	ジャパンディスプレイと鳥取銀行
5	気高電機	鳥取市	3/24	844 (接種完了)	気高電機と近隣企業
6	グッドヒル	鳥取市	3/20	1,035 (接種完了)	グッドヒルと関係企業
7	公立鳥取環境大学	鳥取市	4/23	—	鳥取環境大学と近隣企業
8	鳥取中部観光推進機構	湯梨浜町	3/9	1,047 (接種完了)	中部観光推進機構と近隣企業
9	鳥取大学（米子）	米子市	5/23	—	
10	JR西日本米子支社	米子市	3/3	215	JR西日本米子支社と関係企業
11	陸上自衛隊米子駐屯地	米子市	3/18	53	
12	境港水産振興協会	境港市	4/6	886	境港水産振興協会と関係企業
13	航空自衛隊美保基地	境港市	2/28	226	
合計				7,888	

上記のほか、複数団体で共同接種を実施する「鳥取型職域共同接種体制推進プロジェクト」の共同接種会場として2会場（鳥取市・米子市）で実施。

初回接種を行っていない団体についても、企業・事業所単位で受け入れを行っており、各部局から呼びかけを行い、順次拡大中。

会場	場所	接種開始日	接種実績 (4/18時点)	共同実施する団体	主な対象者
東部会場	鳥取市 文化センター	3/26	1,035	大阪滋慶学園 FMLサービス 県庁職域接種	大阪滋慶学園、鳥取福祉会、 鳥取市教委、トラック協会、 JA、商工会連合会、県職員、 一般県民 他
西部会場	米子産業 体育館		348	米子商工会議所 FMLサービス 県庁職域接種	会員企業、米子信用金庫、ト ラック協会、JA、商工会連 合会、県職員、一般県民 他
合計			1,383		

(3) その他

- ・令和4年3月25日から、新たに12歳～17歳が追加接種の対象となった。
- ・4月19日、武田/ノババックスワクチンが正式に薬事承認された。県営接種会場での5月下旬接種開始に向け調整中。

3 予防接種法に基づく医療機関からの副反応疑い報告状況について

(1) 報告件数

区 分	鳥取県(4月18日現在)			全国(3月20日現在)		
	ファイザー	モデルナ	アストラゼネカ	ファイザー	モデルナ	アストラゼネカ
ワクチンの種類						
推定接種者数 (回分)	960,413回	195,431回	63回	195,944,823回	51,618,647回	116,640回
副反応疑い件数	66件 (0.007%)	3件 (0.002%)	0件 (0.000%)	28,146件 (0.014%)	4,526件 (0.009%)	16件 (0.014%)
うち死亡報告数	11件 (0.001%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)	1,514件 (0.001%)	120件 (0.000%)	1件 (0.001%)
うちアナフィラキシー報告数	17件 (0.002%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)	3,208件 (0.002%)	541件 (0.001%)	5件 (0.004%)

(2) 本県における死亡事例について

(注) 副反応疑い報告での死亡事例については、ワクチン接種による死亡事例の報告ではなく、ワクチン接種後の死亡事例の報告ということであり、必ずしもワクチン接種が原因ではないということに留意が必要。

	年齢	性別	接種から死亡までの期間	ワクチンの種類と回数	死因等(報告者による見解・考察等)
11	80歳代	女	当日	ファイザー (3回目)	不詳の内因死。接種との関連は薄いものと思われる。